

I 著書（所収および分担執筆を含む）

- 1 小元久仁夫 2011年8月. 『南極から美ら海まで—旅のアルバムと私の仕事—』（第2部）. 文成印刷. 東京（自費出版）. 466p.
- 2 Omoto, K. 2011 The problem of age determination of coral boulders deposited by the Meiwa tsunami and the time of occurrence of past tsunamis. In *LSC 2010 Advances in Liquid Scintillation Spectrometry. Proceedings of the 2010 International Liquid Scintillation Conference, Paris, France, 6-10 September 2010* (Ed.Cassette, P.). *Radiocarbon*, Tucson, 139-150.
- 3 国立天文台編 2015年. 図1 スイスローヌ氷河のここ100年間の変化. 図2 スイスローヌ氷河のここ100年間の変化. 環境年表 平成27-28年 第4冊, 丸善出版, 159.
- 4 小元久仁夫 2017年1月. 地形の形成年代とその決定法. 小池一之・山下脩二・岩田脩二・漆原和子・小泉武栄・田瀬則雄・松倉公憲・山川修治 編集『自然地理学事典』. 朝倉書店. 216-217.

II 学術誌掲載論文

- 1 小元久仁夫 2011年2月. 南極試料の¹⁴C年代測定. 私のRI履歴. *Isotope News*, **682**, 23-27.
- 2 小元久仁夫・中村俊夫・森 和紀・田中邦一・松田重雄・大八木英夫・安谷屋 昭・久貝弥嗣・新城宗史 2011年3月. 宮古島東平安名岬西方、ティダガー（太陽泉）の石灰華段丘地形、堆積物の較正年代および水質分析結果について. 日本大学文理学部自然科学研究所「研究紀要」. **46**, 25-48.
- 3 小元久仁夫 2011年3月. 高感度LSCによるバイオ燃料のバイオ・エタノール含有量の測定法. 日本大学文理学部自然科学研究所「研究紀要」. **46**, 397-404.
- 4 小元久仁夫 2011年3月. サイパン島西方、マニャガハ島南部から採取したビーチロックの¹⁴C年代. 日本大学文理学部自然科学研究所「研究紀要」. **46**, 405-407.
- 5 小元久仁夫 2011年3月. 日本大学年代測定室の閉室にあたって. 日本大学文理学部自然科学研究所「研究紀要」. **46**, 387-395.
- 6 小元久仁夫 2011年3月. 南極から美ら海まで—¹⁴C年代測定を始めて45年—. 名古屋大学年代測定総合研究センター. 名古屋大学加速器質量分析計業績報告書（**XXII**）. 10-22.
- 7 小元 久仁夫・竹石 健二 2012年9月. 西日本の5遺跡から採取した貝殻試料の放射性炭素年代と較正年代—較正年代による考古遺跡の編年—. *史叢*, **87**, (1)-128-(23)-106.
- 8 渡會 晋平・小元 久仁夫 2012年12月. 宮古島西方, 下地島北西海岸から採取したハマサンゴ岩塊の較正年代. *地理誌叢*. **54**(1), 1-6.
- 9 小元久仁夫 2012年12月. 沖縄県宮古島の南東海岸に打ち上げられた津波石の分布と較正年代. *地学雑誌*, **121**(6), 口絵 3, xiv.
- 10 小元久仁夫 2012年12月. 沖縄県宮古島南東, マイバーバマに打ち上げられた津波石の較正年代. *地学雑誌*, **121**(6), 1043-1051.
- 11 小元 久仁夫・中村俊夫 2013年2月. 宮古島南東, マイバーバマに打ち上げられた津波石から採取した貝化石の較正年代. *第四紀研究*, **52**(1), 13-18.
- 12 比企 祐介・小元 久仁夫 2013年3月. 宮古島南東, 東平安名岬周辺における海成段丘の形成年代—関東南部の地形面との対比—. *地理誌叢* **54**(2), 1-16.
- 13 白岩真由子・小元 久仁夫 2013年6月. 宮古島南東部, マイバー浜から採取したハマサンゴ化石の年縞分析—気候変動復元の試み—. *地理誌叢*, **55**(1), 11-19.
- 14 小元久仁夫 2014年3月. 酸素同位体比 ($\delta^{18}\text{O}$) 分析から推論される MIS-11 以降における海成段丘の形成期—既存研究のレビューと提言—. *地理誌叢*, **55**(2), 16-36.
- 15 小元久仁夫 2014年2月. 種子島南東部, 広田海岸から採取した膠結砂層, 泥炭および樹幹の較正年代. *地学雑誌*. **123**(1), 25-34.
- 16 小元久仁夫 2014年2月. 種子島南東部, 広田海岸の膠結砂層 (eolianite) と泥炭層. *地学雑誌*. **123**(1), 口絵 1, i-ii.
- 17 小元久仁夫 2014年3月. 八重山諸島から採取したビーチロック試料の較正年代と安定炭素同位体比 ($\delta^{13}\text{C}$). *季刊地理学*. **65**(4), 207-221.

- 18 小元久仁夫 2014 年 5 月. 沖縄県宮古列島から採取したビーチロック試料の較正年代. 地理学評論, **87** (3), 267-275.
- 19 小元久仁夫 2014 年 7 月. 宮古列島から採取したビーチロック試料の較正年代と津波の年代. 地理誌叢, **56**(1), 11-24.
- 20 小元久仁夫・大村 纂 2015 年 2 月. 急速に後退するスイスのローヌ氷河—写真と資料による氷河の後退史—. 地学雑誌, **124**(1), 124-127.
- 21 小元久仁夫 2015 年 2 月. 写真で見るスイスのローヌ氷河の後退史—. 地学雑誌, **124**(1), 口絵 2, iii-iv.
- 22 小元久仁夫 2015 年 8 月. 沖縄県伊江島から採取したビーチロック試料とニヤティヤガマ洞窟床堆積物の年代. 地学雑誌, **124**(4), 665-674.
- 23 小元久仁夫 2015 年 8 月. 伊江島南岸のビーチロックとニヤティヤガマ洞窟床堆積物の較正年代. 地学雑誌, **124**(4), 口絵 1, xv-xvi.
- 24 小元久仁夫 2015 年 8 月. スイス・ローヌ氷河の後退史. 地理誌叢, **57** (1), 1-11.
- 25 小元久仁夫 2016 年 6 月. 長崎県天然記念物脇岬のビーチロックの較正年代. 地学雑誌, **125**(3), 口絵 2, iiv-iiiv.
- 26 小元久仁夫・伊藤佑始 2016 年 6 月. 長崎半島脇岬のビーチロックの特徴と較正年代. 地学雑誌, **125**(3), 409-419.
- 27 小元久仁夫・中村俊夫 2016 年 9 月. β 線法と AMS 法による ^{14}C 年代の相違とその解釈—宮古島南東, ティダガーから採取した試料の測定結果を事例として—. 季刊地理学, **68**(3), 183-191.
- 28 小元久仁夫・伊藤佑始 2016 年 11 月. 長崎県脇岬のビーチロックの形成に関する一考察. 地理誌叢, **58**(1), 1-10.
- 29 小元久仁夫・小俣雅志・市川清士 2017 年 3 月. 宮古島北部, 大浦田原海岸のビーチロックの形成年代と形成速度. 季刊地理学, **68**(4), 302-312.
- 30 小元久仁夫 2017 年 9 月. 伊江島南岸, ニヤティヤガマ洞窟底堆積物の ^{14}C 年代と地形発達. 地理誌叢, **59**(1), 15-25.
- 31 小元久仁夫・田中邦一・松田重雄・横山 薫 2017 年 10 月. 天然記念物・宮古島保良海岸の石灰華段丘の精密等高線図の作成.—地上型レーザーキャナー (TLS) による—. 地学雑誌, **125**(6), 653-664.
- 32 小元久仁夫・南 雅代 2017 年 11 月. 宮古島南東マイバーバマ東岸に打ち上げられたハマサンゴ岩塊の ^{14}C 年代とその意義. 季刊地理学, **69**(3), 119-127.
- 33 小元久仁夫・藁谷哲也・塩見昌司・南 雅代 2018 年 3 月. ビーチロック試料の正確な膠結年代決定法の開発. 名古屋大学宇宙地球環境研究所年代測定研究, **2**, 7-11.
- 34 小元久仁夫 2018 年 3 月. 南西諸島から採取した炭酸塩試料の ^{14}C 年代の補正法. 地理誌叢, **59**(2), 17-30.
- 35 小元久仁夫・中村俊夫・松島義章 2018 年 4 月. 沖縄県伊江島のナガラ原第三貝塚およびカヤ原遺跡の ^{14}C 年代. 第四紀研究, **57** (2), 77-83.
- 36 小元久仁夫・中村俊夫・松島義章 2018 年 4 月. 沖縄県伊江島の海洋リザーバー効果 (ΔR) とその意義. 季刊地理学, **70**(1), 17-26.
- 37 小元久仁夫 2019 年 3 月. 小元久仁夫の地理学および関連科学に関する文献資料. 地理誌叢, **60**(1・2), 1-9.
- 38 小元久仁夫 2019 年 7 月. 南西諸島宮古島南東のマイバーバマ東部および吉野海岸に打ち上げられたサンゴ岩塊の ^{14}C 年代. 季刊地理学, **71**(2), 82-88.
- 39 小元久仁夫 2019 年 12 月. ローヌ氷河の後退と氷河湖「Rhonesee」の拡大—写真と図で見るローヌ氷河とローヌ湖の変貌—. 地学雑誌, **128** (6), 953-958.
- 40 小元久仁夫 2020 年 3 月. 南極昭和基地周辺地域とマランビオ島の氷河および周氷河地形研究の総括. 地理誌叢, **61** (1・2), 21-36.
- 41 小元久仁夫・藁谷哲也・塩見昌司・大八木英夫・横尾頼子・池田晃子 2020 年 6 月 (2020) : ビーチロック試料の正確な膠結年代の決定方法 (2). 名古屋大学宇宙地球環境研究所年代測定報告, **4**, 9-15.
- 42 小元久仁夫 2021 年 2 月. 宮古島南東, マイバーバマ東部のビーチロックから採取した試料の ^{14}C 年代とその意義. 地学雑誌, **130** (1), 95-101.
- 43 小元久仁夫 2021 年 3 月. ^{14}C 年代測定の自動化と Tmax Age を 6 万年以上に拡大する研究. 地理誌叢, **62** (1・2), 1-10.
- 44 小元久仁夫・藁谷哲也・北川浩之・加藤丈典・大八木英夫・小田寛貴・池田晃子・横尾頼子・2021 年 4 月 (2021) : ビーチロック試料の正確な膠結年代の決定方法 (3). 名古屋大学宇宙地球環境研究所年代測定報告, **5**, 6-11.
- 45 小元久仁夫・藁谷哲也・池田晃子・横尾頼子・塩見昌司 2021 年 7 月. 宮崎県北部, 島浦島南部の日井の

- 浜に発達する礫岩質ビーチロックの ^{14}C 年代. 季刊地理学, **73**(1), 1-10.
- 46 小元久仁夫 2022 年 2 月: 自然公園法にもとづく国立公園内における試料採取の手続について—慶良間諸島国立公園特別地域および海域公園地区を例として—. 地学雑誌, **131** (1), 115-121.
- 47 小元久仁夫・大八木英夫・池田晃子・藁谷哲也 2022 年 5 月: 宮古島吉野海岸に発達する砂層と湧水の分析結果. 季刊地理学, **74** (1), 68-77.
- 48 小元久仁夫 2022 年 6 月: ^{14}C 年代による地形, 地質, 古環境, 遺跡の編年学的研究. 地理誌叢, **63**(1・2), 1-20.
- 49 小元久仁夫・池田晃子・横尾頼子 2022 年 8 月: 長崎県佐世保市東浜町の礫岩質ビーチロックから採取した試料の ^{14}C 年代測定結果. 地学雑誌, **131** (4), 473-478.
- 50 小元久仁夫・北川浩之・平河内毅 2023 年 7 月: 北海道オホーツク海岸の ΔR の検討. 季刊地理学, **75**, (2), 78-85.
- 51 小元久仁夫 2023 年 7 月: 沖縄島西方, 慶留間島の礫岩質ビーチロックから採取した試料の ^{14}C 年代. 地学雑誌, **132** (3), 247-256.
- 52 小元久仁夫 2023 年 9 月: 沖縄島本部半島西方, 水納島のビーチロックから採取した試料の ^{14}C 年代. 地理誌叢, **64**(1・2), 1-4.
- 53 小元久仁夫 2024 年 6 月: 沖縄島北部, 伊平屋島の礫岩質ビーチロックから採取した試料の ^{14}C 年代. 季刊地理学, **76** (2), 79-90.
- 54 小元久仁夫 2024 年 8 月: 令和 6 年能登半島地震遭遇記. 雑誌地理, **69** (8), 21-26.
- 55 小元久仁夫・池田晃子・横尾頼子 2025 年 10 月: 座間味島, 阿嘉島および渡嘉敷島のビーチロックの膠結物質の元素濃度と ^{14}C 年代. 地学雑誌, **134** (5), 539-551.

III 研究報告書ほか

- 1 小元久仁夫 (2011) 第 1 章 放射性炭素 (^{14}C) 年代測定法調査 1.3 液体シンチレーション法 (LSC 法), 第 2 章 放射性炭素 (^{14}C) 測定法の標準化に向けた課題調査 (2.2~2.5 節) ..化学物質のバイオマス由来度測定法の標準化に関する調査研究報告書. 財団法人 機会システム進行協会. システム技術開発著砂研究 20-R-4, 25-58, 113-141.
- 2 小元久仁夫 2013 年 7 月. 西村嘉助先生のご逝去を悼む. 季刊地理学. **65**(2), 116-117.
- 3 小元久仁夫・中村俊夫・松島義章 2016 年 3 月. 沖縄県伊江島の ΔR と遺跡の年代. 名古屋大学加速器質量分析計業績報告書. **XXV II**, 40-45.
- 4 小元久仁夫・藁谷哲也・塩見昌司・南雅代 2018 年 3 月. ビーチロック試料の正確な膠結年代決定法の開発. 名古屋大学年代測定研究. **2**, 7-11.
- 5 小元久仁夫・藁谷哲也・塩見昌司・南雅代 2019 年 3 月. ビーチロック試料の正確な膠結年代の決定方法. 名古屋大学年代測定研究. **3**, 41-43.
- 6 小元久仁夫 2020 年 12 月. 前島郁雄先生のご逝去を悼む. 地理誌叢. **62** (1), 53-55.

IV 研究発表

A. 国内学会 *印は共同研究の代表発表者を示す.

- 1 小元久仁夫 (2011): 南極から美ら海まで— ^{14}C 年代測定を始めて 45 年—. 名古屋大学年代測定総合研究センターシンポジウム. 2011 年 1 月 14 日. 名古屋大学. 名古屋市.
- 2 小元久仁夫*・中村俊夫 (2011): ^{14}C 年代測定における β 線法および AMS 法の検討. 日本地理学会発表要旨集 **80**, 99. 日本地理学会. 2011 年 9 月 24 日. 大分大学. 大分市.
- 3 小元久仁夫*・横山勝三・千田昇 (2011): 九州と周辺の島々から採取したビーチロック試料の較正年代. 季刊地理学 **63**(3), 112-113. 東北地理学会. 2011 年 5 月 26 日. 仙台市戦災復興記念館. 仙台市.
- 4 田中邦一*・松田重雄・小元久仁夫 (2011): レーザースキャナの反射強度・反射率による宮古島石灰華段丘の解析. 日本写真測量学会. 2011 年 10 月 21 日. 大分県別府市.
- 5 塩見昌司*・小元久仁夫 (2012): 年代測定用放射線測定装置の性能評価. 日本大学生産工学部第 45 回学術講演会講演要旨. 1069-1070. 2012 年 12 月 1 日. 日本大学生産工学部. 千葉県習志野市.
- 6 小元久仁夫*・白岩真由子 (2013): 宮古島南東部, マイバー浜から採取したハマサンゴ化石の年縞分析による気候変動復元の試み. 季刊地理学 **65**(3), 149. 東北地理学会. 2013 年 5 月 18 日. 仙台市戦災復興記念館. 仙台市.
- 7 小元久仁夫 (2013): 宮古列島から採取したビーチロック試料の較正年代と津波の年代. 季刊地理学

- 65(3), 158-159. 東北地理学会. 2013年5月19日. 仙台市戦災復興記念館. 仙台市.
- 8 小元久仁夫 (2014): わが国における完新世中期以降の海水準変動の研究成果に関する疑問. 季刊地理学 **66(2)**, 101-102. 東北地理学会. 2014年5月17日. 仙台市戦災復興記念館. 仙台市.
 - 9 小元久仁夫*・大村 纂 (2014): ローヌ氷河 (スイス) の急速な後退とローヌ湖の誕生—写真と資料による—. 季刊地理学 **67(1)**, 42-43. 東北地理学会. 2014年10月11日. 山形大学基盤教育2号館. 山形市.
 - 10 小元久仁夫*・小俣雅志・市川清士 (2015): 南西諸島におけるビーチロックの成長速度—宮古島北部大浦田原海岸の例—. 季刊地理学 **68(2)**, 143. 東北地理学会. 2015年5月17日. 仙台市戦災復興記念館. 仙台市.
 - 11 小元久仁夫*・中村俊夫・松島義章 (2016): 沖縄県伊江島の ΔR と遺跡の年代. 名古屋大学加速器質量分析計業績報告書. **XXV II**, 40-45. 第28回名古屋大学宇宙地球環境研究所・年代測定研究部シンポジウム. 2016年1月28日. 名古屋大学野依記念学術交流館. 名古屋市.
 - 12 小元久仁夫 (2016): 南西諸島のビーチロックの特徴. 日本地理学会発表要旨集 **90**, 109. 日本地理学会. 2016年9月30日. 仙台市. 東北大学.
 - 13 小元久仁夫・南 雅代 (2017): ビーチロックの形成年代とは? 2016年度名古屋大学宇宙地球環境研究所年代測定研究シンポジウム. 名古屋大学. 2017年1月30日. 名古屋市.
 - 14 小元久仁夫*・南 雅代 (2017): 宮古島マイバーバマのビーチロックに半埋没しているハマサンゴの AMS¹⁴C 年代季刊地理学, **69(3)**, 153. 東北地理学会. 2017年5月20日. 仙台市戦災復興記念館. 仙台市.
 - 15 小元久仁夫 (2017): 南西諸島から採取した炭酸塩試料の ¹⁴C 年代の補正法. 日本大学地理学会. 2017年11月25日. 東京都.
 - 16 小元久仁夫*・南 雅代 (2018): 宮古島南東、マイバーバマ東部に打ち上げられたハマサンゴの ¹⁴C 年代とその意義. 2017年度名古屋大学宇宙地球環境研究所年代測定研究シンポジウム. 名古屋大学. 2018年2月1日. 名古屋市.
 - 17 小元久仁夫*・南 雅代・藁谷哲也・塩見昌司 (2018): ビーチロックの正確な膠結年代決定法の開発 (予報) —宮崎県島浦島のビーチロックの形成年代—季刊地理学 **70(3)**, 143-144. 東北地理学会. 2018年5月19日. 東北大学大学院環境科学部. 仙台市.
 - 18 小元久仁夫*・藁谷哲也・南 雅代・池田晃子・横尾頼子・塩見昌司 (2019): ビーチロックの年代を決定する際の問題点. 2018年度名古屋大学宇宙地球環境研究所年代測定研究シンポジウム. 名古屋大学. 2019年2月1日. 名古屋市.
 - 19 小元久仁夫*・南 雅代・大八木英夫・池田晃子 (2019): 宮古島南東海岸に発達する固結砂層と湧水の特徴. 東北大学大学院環境科学部. 2019年5月18日. 仙台市. 季刊地理学, **71(3)**, 136-137.
 - 20 小元久仁夫 (2019): 南極やまと山脈と昭和基地周辺地域の自然地理学的調査と編年. 日本大学地理学会. 2019年11月30日. 東京都.
 - 21 小元久仁夫*・北川浩之・平河内毅 (2022): 北海道オホーツク海沿岸の ΔR の決定とその意義. 東北地理学会. 2022年5月14日. 東北大学大学院環境科学部. 仙台市. 季刊地理学 **74(3)**, 139-144.
 - 23 小元久仁夫 (2022): ビーチロックの形成年代と, 年代測定試料および測定年代に関する検討. 東北地理学会. 2023年10月15日. 東北大学大学院環境科学部. 仙台市. 季刊地理学 **75(1)**, 29.
 - 24 小元久仁夫 (2022): 定年退職後12年間の研究成果. 日本大学地理学会. 2022年12月3日. 東京都.
 - 25 小元久仁夫 (2023): 慶良間諸島国立公園内, 慶留間島北部の礫岩質ビーチロックの形成年代. 東北地理学会. 2023年5月20日. 東北大学大学院環境科学部. 仙台市. 季刊地理学 **75(3)**, 128.
 - 26 小元久仁夫 (2023): 九州および南西諸島の礫岩質ビーチロックから採取した膠結物質の化学成分と ¹⁴C 年代. 日本地理学会発表要旨集 **104**, 23. 日本地理学会. 2023年9月16日. 吹田市. 関西大学.
 - 27 小元久仁夫 (2023): 宮古島に襲来した大津波の年代. 日本大学地理学会. 2022年12月5日. 東京都. 地理誌叢,
 - 28 小元久仁夫 (2024): ビーチロックの形成年代決定法. 東北地理学会. 2024年5月18日. 東北大学大学院環境科学部. 仙台市. 季刊地理学 **76(3)**, 149.
 - 29 小元久仁夫 (2024): 写真と地図によるアルプス氷河衰退の記録. 日本大学地理学会. 2024年11月30日. 東京都. 地理誌叢,
 - 30 小元久仁夫 (2025): 地球温暖化によるアルプス氷河の衰退. 東北地理学会. 2025年5月17日. 東北大学. 大学院環境科学部 仙台市. 季刊地理学 **77(3)**, 121.
 - 31 小元久仁夫 (2025): あらためて問う縄文高海水準と弥生の低海水準の存在について. 日本大学地理学会. 2025年11月29日. 東京都.
 32. 小元久仁夫 (2026): AMS と IRMS で測定した $\delta^{13}C$ の比較—¹⁴C 年代の信頼性—. 東北地理学会. 2026年5月16日. 東北大学大学院環境科学部. 仙台市.

以上

